

北広島市・長沼町・南幌町

合併問題研究会 報告書



平成15年8月21日
北広島市・長沼町・南幌町合併問題研究会

目次

はじめに	1
構成市町の沿革	2
構成市町の現状分析	
1 人口の推移 人口ピラミット	3
2 日常生活圏 (1) 他市町村での就業者数 (2) 他市町村への通学者数 (3) 他市町村での購買率 (4) 他市町村への入院・通院者数	5
3 産業状況 (1) 産業別就業者数 (2) 商店数・従業者数・年間販売額数 (3) 事業所数・従業者数・工業出荷額 (4) 観光入り込み数 (5) 農家数・農業人口・耕地面積・粗生産額 (6) 農協の設置状況	9
4 行政体制 (1) 部門別職員数 (2) 特別職、議会議員報酬の状況 (3) 広域行政の状況	12
5 財政状況 (1) 財政状況 (2) 市町村税の状況 (3) 各種財政指標の状況 (4) 繰出金の状況 (5) 市町村税の税率等 (6) 国民健康保険料(税)・介護保険料の状況	15
6 住民サービスに係る料金 (1) 水道料金 (2) 下水道料金 (3) 保育料 (4) 乳幼児医療費助成 (5) 主な検診負担金 (6) 学校給食費 (7) 家庭ごみ収集料金 (8) 証明手数料	21
7 各種施設の設置状況	24
8 都市基盤の状況	25
市町村合併のメリット・デメリット	
市町村合併のメリット	26
市町村合併のデメリット	28
おわりに	30

地方分権の推進や少子高齢化の急速な進行にともない、基礎的自治体である市町村の行政サービスの維持・向上、市町村の運営基盤の強化・自立といった観点から、国においては「市町村合併後の自治体数を1000を目標とする」という方針が打ち出され、市町村合併が積極的に押し進められています。

特に、平成11年7月に改正された「市町村の合併の特例に関する法律(合併特例法)」の期限が平成17年3月に迫っており、この法律に盛り込まれた様々な特例を受けるためには、期限までの合併が必要とされています。

また、北海道においても、国の方針を受け、平成12年9月に「北海道市町村合併要綱」を策定し、市町村における合併の動きを支援しているところです。

市町村は、基礎的自治体として住民に最も近い位置にあり、その合併については、客観的データを基に、地域住民が十分議論することが必要です。また、その際に望まれるのは、長期的展望に立って、今後の地域社会を創造するための議論です。

少子高齢化の進行は、介護保険制度の開始など、新たな社会保障制度を生み出す一方で、税負担を支える現役世代が減少するなど、市町村は、新たな時代に対応する行政サービスの維持・確保のため、行財政基盤の強化や効率的な運営を迫られています。

さらには、日常生活圏が広域化し、市町村の区域を越えて交流が進むとともに、環境問題など広い視点に立ったまちづくりが求められています。

市町村合併は、そうした課題を解決する選択肢の一つとして、地域住民が自主的・主体的に判断する地方分権時代の重要な課題です。

このことから、北広島市、長沼町、南幌町においても、市町村合併を地域の将来にかかわる重要な課題として位置づけ、平成15年1月8日に、関係課長による「北広島市・長沼町・南幌町合併問題研究会」を設置したところです。

本報告書は、研究会が1市2町の地域について、日常社会生活圏、行財政等の現状を研究するとともに、合併によるメリット・デメリット等の把握を目的としたもので、今後の各市町の地域住民が合併に関する論議を深める上で必要な情報資料としてまとめたものです。

構成市町の沿革

北広島市と長沼町、南幌町は千歳川を境に、長沼町と南幌町は旧夕張川を境に接し、石狩支庁、空知支庁にまたがり、道央圏の東部に位置します。合計面積は368.39km²になり、札幌市の3分の1ほどの面積となります。

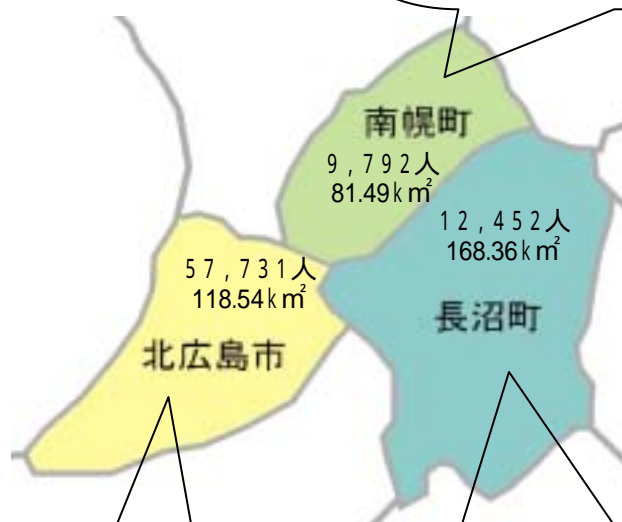
周辺には、札幌市、江別市、栗沢町、栗山町、由仁町、千歳市、恵庭市が隣接しています。

	北広島市	長沼町	南幌町	合計
総面積(km ²)	118.54	168.36	81.49	368.39
人口密度(人/km ²)	487	74.0	120.2	217.1

南幌町は、道都札幌市から25km圏に位置し、夕張川・千歳川・旧夕張川に四方を囲まれた町であり、平坦な地形に水田が広がっています。気候は概して温和ですが、太平洋から日本海に吹きぬける風の通り道となっており、風は四季を通じてやや強く、防風林が発達していません。

<沿革>

明治28年 幌向村戸長役場設置
 明治42年 二級町村制施行、幌向村とする。
 昭和37年 町制施行、南幌町と改称



北広島市は、石狩平野のほぼ中央に位置し、札幌市と新千歳空港の間に広がるなだらかな丘陵地帯にあります。地形は南西部にある島松山を除いては、標高100m前後の丘陵が各所にあって起伏に富んでおり、北東にいくにしたがって次第に広がり、やや菱形に近い形をしています。また、面積の約40%が森林です。

<沿革>

明治26年 広島村設置
 明治27年 広島村戸長役場設置
 明治35年 二級町村制施行、広島村とする。
 大正10年 一級町村制施行
 昭和43年 町制施行
 平成8年 市制施行

長沼町は、北海道の中央、石狩平野の南東部に位置し、道都札幌市から南東へ32kmの位置にあります。面積の約2割は東側を南北に連なる馬追丘陵の緩傾斜地、約8割は石狩低地帯です。気候は年を通しておだやかな気候ですが、春から夏にかけては太平洋から吹く冷たい偏東風の影響を受け、冬は日本海から西・北西の強い季節風が吹き、にわかにも量の降雪をみることがあります。

<沿革>

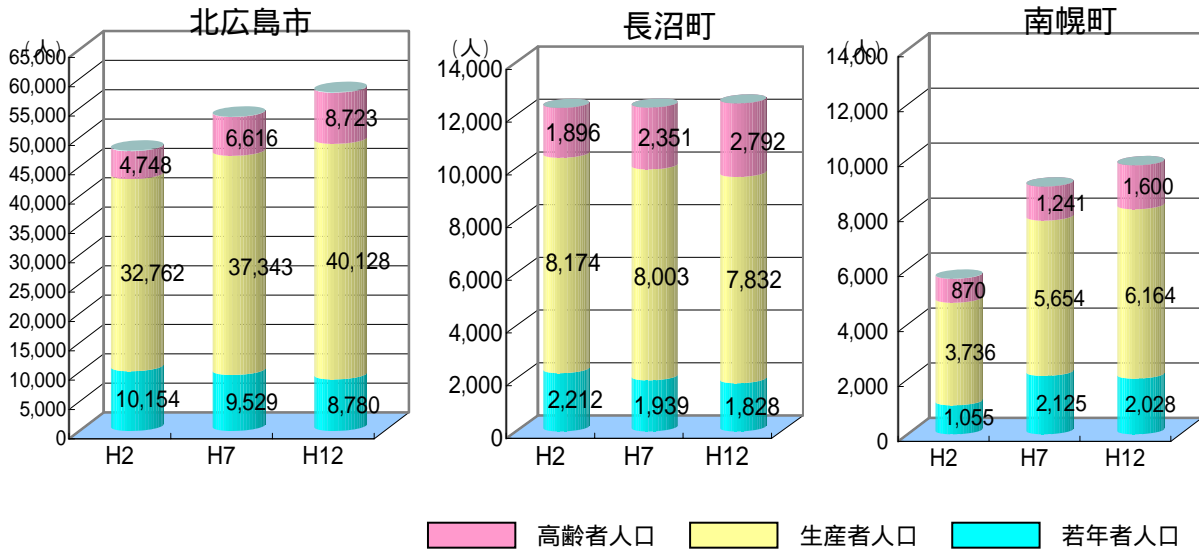
明治26年 由仁ほか3村戸長役場の管轄に属す。
 明治28年 長沼村戸長役場設置
 明治35年 二級町村制施行、長沼村とする。
 明治40年 一級町村制施行
 大正8年 由仁村の一部を編入
 大正9年 幌向村の一部を編入
 昭和24年 栗山町の一部を編入
 昭和27年 町制施行

人口は平成12年国勢調査

構成市町の現状分析

1 人口の推移

平成2年～平成12年の国勢調査によると、北広島市と南幌町は増加傾向、長沼町は微増となっています。各市町とも高齢者人口は増加し、若年者人口は減少しており、少子高齢化が進展しています。



(単位:人、%)

市町村名		北広島市	長沼町	南幌町	合計		
H2 国勢調査	総人口	A 47,758	12,282	5,665	65,705		
	年齢構成別	高齢者人口	B 4,748	1,896	870	7,514	
		構成比	9.9	15.4	15.4	11.4	
		生産年齢人口	C 32,762	8,174	3,736	44,672	
		構成比	68.6	66.6	65.9	68.0	
		若年者人口	D 10,154	2,212	1,055	13,421	
構成比	21.3	18.0	18.6	20.4			
年齢不詳	E 94	0	4	98			
構成比	0.2	0.0	0.1	0.1			
H7 国勢調査	総人口	53,537	12,293	9,020	74,850		
	年齢構成別	高齢者人口	6,616	2,351	1,241	10,208	
		構成比	12.4	19.1	13.8	13.6	
		生産年齢人口	37,343	8,003	5,654	51,000	
		構成比	69.8	65.1	62.7	68.1	
		若年者人口	9,529	1,939	2,125	13,593	
構成比	17.8	15.8	23.6	18.2			
年齢不詳	49	0	0	49			
構成比	0.1	0.0	0.0	0.1			
市町村名		北広島市	長沼町	南幌町	合計	類似団体平均	
H12 国勢調査	総人口	F 57,731	12,452	9,792	79,975	65,239	
	年齢構成別	高齢者人口	G 8,723	2,792	1,600	13,115	
		構成比	15.1	22.4	16.3	16.4	
		生産年齢人口	H 40,128	7,832	6,164	54,124	
		構成比	69.5	62.9	62.9	67.7	
		若年者人口	I 8,780	1,828	2,028	12,636	
構成比	15.2	14.7	20.7	15.8			
年齢不詳	J 100	0	0	100			
構成比	0.2	0.0	0.0	0.1			
市町村名		北広島市	長沼町	南幌町	合計	類似団体平均	
面積	総面積(km ²)	K 118.54	168.36	81.49	368.39	294.9	
	総面積人口密度(人/km ²)	F/K 487	74.0	120.2	217.1	221.2	
H2～12増減	年齢構成別	総人口	F-A 9,973	170	4,127	14,270	
		増減率	(F-A)/A 20.9	1.4	72.9	21.7	
		高齢者人口	G-B 3,975	896	730	5,601	
		増減率	(G-B)/B 83.7	47.3	83.9	74.5	
		生産年齢人口	H-C 7,366	-342	2,428	9,452	
		増減率	(H-C)/C 22.5	-4.2	65.0	21.2	
		若年者人口	I-D -1,374	-384	973	-785	
		増減率	(I-D)/D -13.5	-17.4	92.2	-5.8	
年齢不詳	J-E 6	0	-4	2			
構成比	(J-E)/E 6.4	0.0	0.0	2.0			

(注) 高齢者人口:65歳以上人口、生産年齢人口:15歳以上64歳以下人口、若年者人口:14歳以下人口

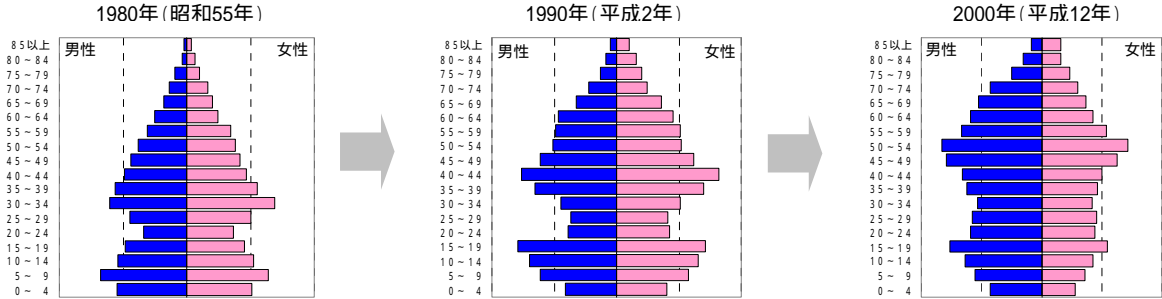
人口ピラミッド

人口の年齢構造の変化を人口ピラミッドの形態によって見てみると、1980年は、1市2町合計及び北広島市において、5～9歳・30～34歳を中心とした2つの膨らみをもつ「ひょうたん型」に近い傾向がありますが、長沼町は「釣鐘型」に近い傾向であります。

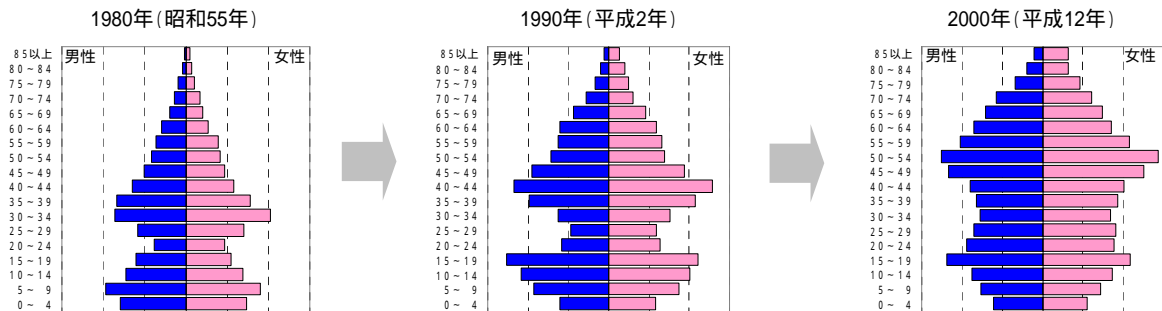
2000年では、1市2町合計及び北広島市において、15～19歳・50～54歳、南幌町が10～14歳、35～39歳を中心とした2つの膨らみをもつ「ひょうたん型」に近い傾向がありますが、長沼町は年代ごとの変化が少なく「筒型」に近い状況です。なお、2005年～2010年には日本の人口はピークを迎え、その後減少することが見込まれており、2030年には、総体的な人口減少に加え、年少人口の急激な減少によりピラミッドの底辺が狭い不安定な状況になると予想され、文字通り「少子・高齢化」が進展していくことが予想されます。

一般的には、若い人の人口が多く、底辺が広く安定した「富士山型」が理想とされています

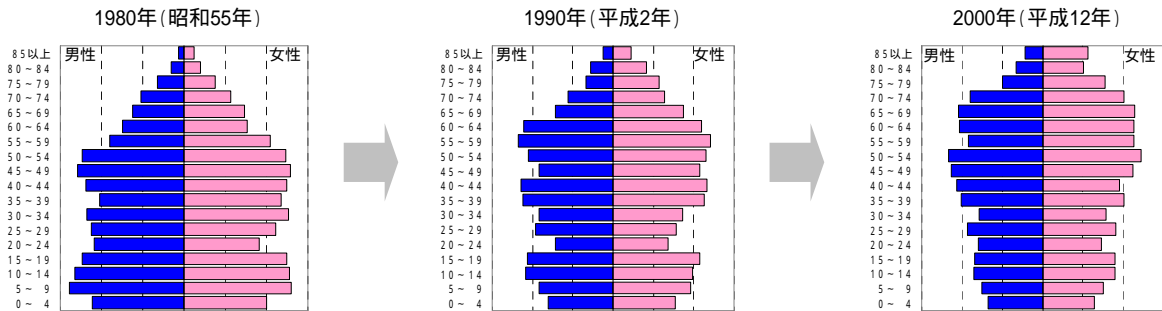
< 1市2町合計 >



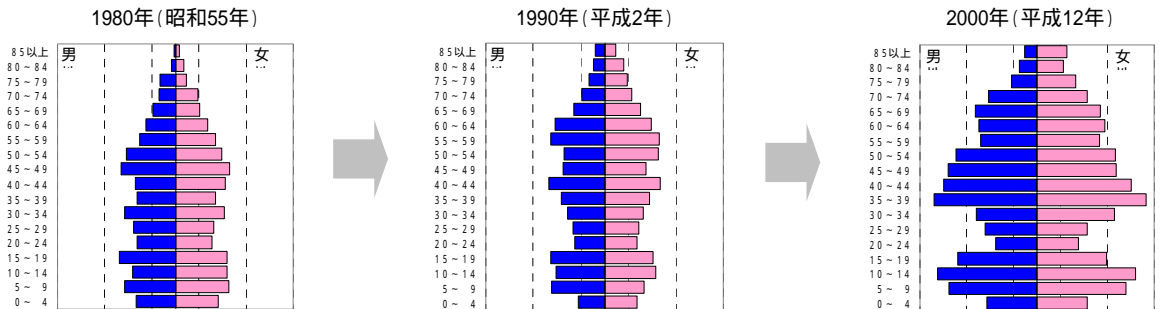
< 北広島市 >



< 長沼町 >



< 南幌町 >

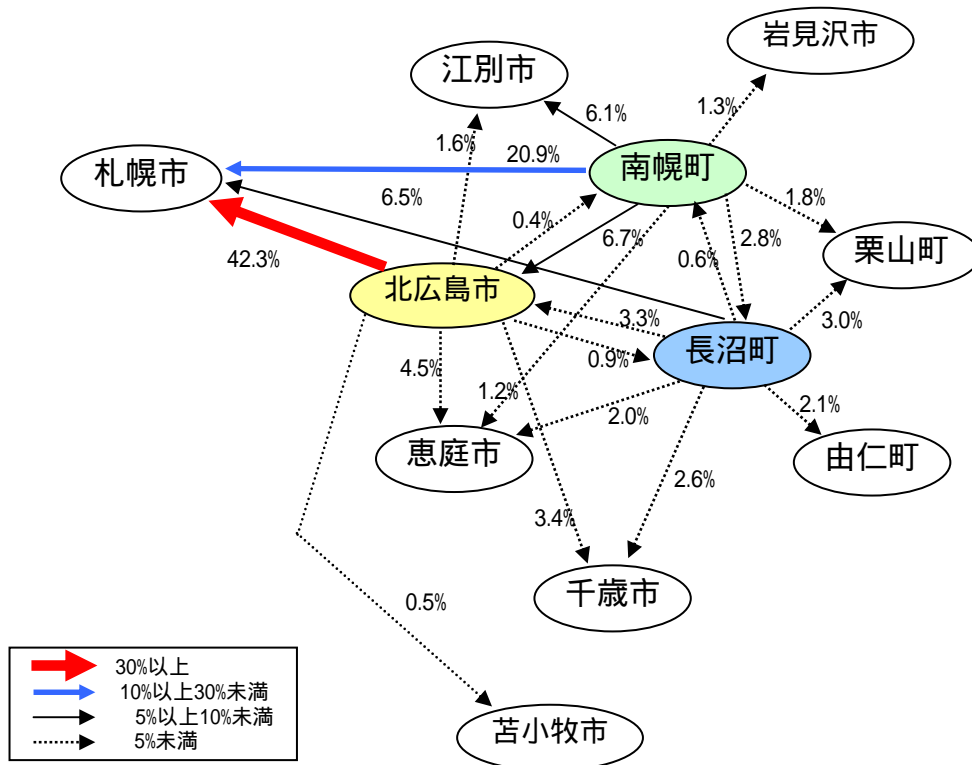


2 日常生活圏

1市2町(北広島市、長沼町、南幌町)内での交流はあまり深くなく、1市2町以外の札幌市、江別市、恵庭市などへの流動が目立っています。

(1) 他市町村での就業者数

南幌町から北広島市への就業者が6.7%となっていますが、1市2町内での流動は少なく、特に北広島市は札幌市への就業者が42.3%となっています。また、当該市町での就業者は長沼町が77.3%と高く、南幌町は55.1%、北広島市は44.2%となっています。



(単位:人、%)

北広島市				長沼町				南幌町			
H 12	就業者総数	26,051	(100.0)	H 12	就業者総数	6,752	(100.0)	H 12	就業者総数	4,753	(100.0)
	当該市町村での就業者数	11,515	(44.2)		当該市町村での就業者数	5,218	(77.3)		当該市町村での就業者数	2,617	(55.1)
	他市町村での就業者数	14,536	(55.8)		他市町村での就業者数	1,534	(22.7)		他市町村での就業者数	2,136	(44.9)
	札幌市	11,026	(42.3)		札幌市	440	(6.5)		札幌市	992	(20.9)
	恵庭市	1,177	(4.5)		北広島市	222	(3.3)		北広島市	318	(6.7)
	千歳市	896	(3.4)		栗山町	202	(3.0)		江別市	292	(6.1)
	江別市	406	(1.6)		千歳市	174	(2.6)		長沼町	135	(2.8)
	長沼町	230	(0.9)		由仁町	142	(2.1)		栗山町	85	(1.8)
	苫小牧市	119	(0.5)		恵庭市	135	(2.0)		岩見沢市	60	(1.3)
	南幌町	94	(0.4)		南幌町	41	(0.6)		恵庭市	57	(1.2)
その他市町村	588	(2.3)	その他市町村	178	(2.6)	その他市町村	197	(4.1)			
1市2町内	324	(1.2)	1市2町内	263	(3.9)	1市2町内	453	(9.5)			

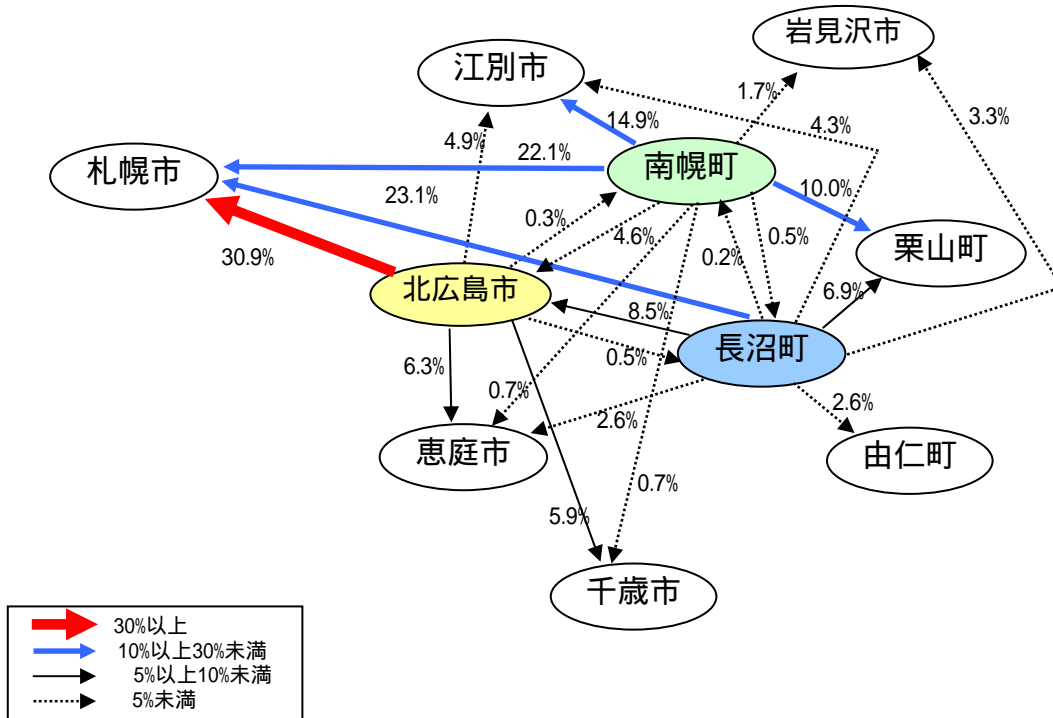
(注) ()内は構成比。 端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。

(参考)平成12年国勢調査報告第6巻その2「第2表 常住地による従業・通学市区町村別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数」

(2) 他市町村への通学者数

長沼町から北広島市への通学者が8.5%となっていますが、1市2町それぞれに高等学校があることから1市2町内での通学者は少ない状況で、その他は札幌市が2割以上と、隣接する市町への通学となっています。

また、当該市町での通学者は、北広島市48.5%、長沼町46.2%、南幌町が43.6%となっています。



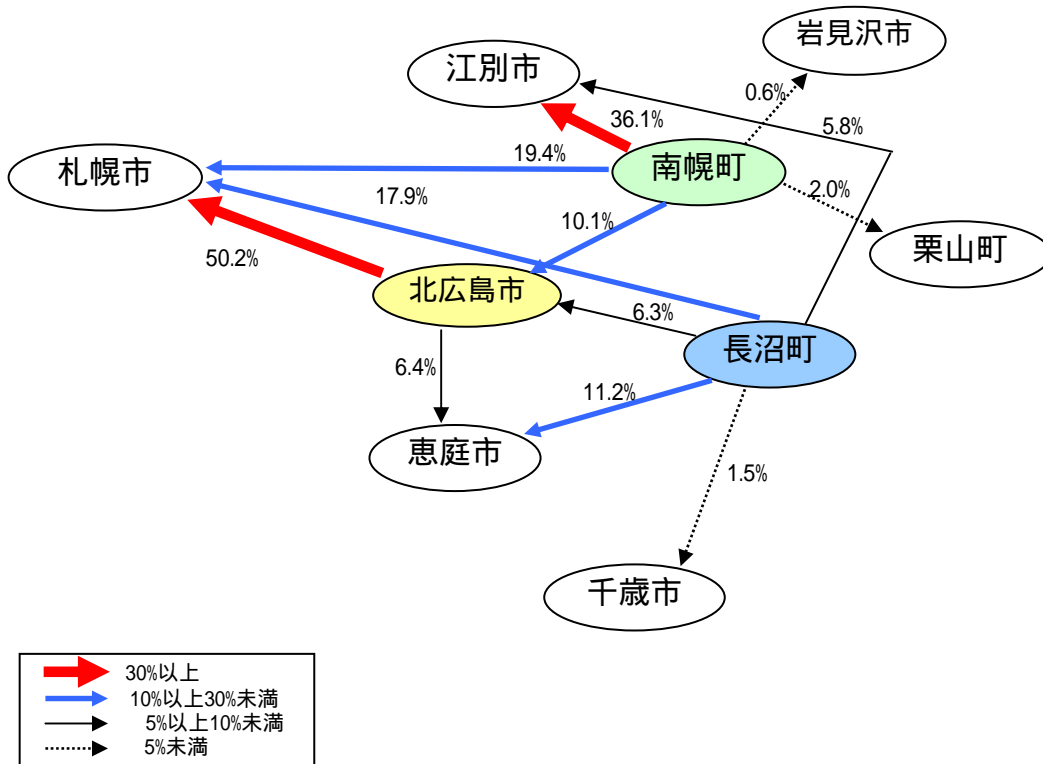
北広島市			長沼町			南幌町					
H 12	通学者総数	4,610 (100.0)	H 12	通学者総数	611 (100.0)	H 12	通学者総数	589 (100.0)			
	当該市町村での通学者数	2,235 (48.5)		当該市町村での通学者数	282 (46.2)		当該市町村での通学者数	257 (43.6)			
	他市町村への通学者数	2,375 (51.5)		他市町村への通学者数	329 (53.8)		他市町村への通学者数	332 (56.4)			
	通	札幌市		1,423 (30.9)	通		札幌市	141 (23.1)	通	札幌市	130 (22.1)
	先	恵庭市		289 (6.3)	先		北広島市	52 (8.5)	先	江別市	88 (14.9)
	市	千歳市		271 (5.9)	市		栗山町	42 (6.9)	市	栗山町	59 (10.0)
	町	江別市		225 (4.9)	町		江別市	26 (4.3)	町	北広島市	27 (4.6)
	村	長沼町		21 (0.5)	村		岩見沢市	20 (3.3)	村	岩見沢市	10 (1.7)
		南幌町		13 (0.3)			由仁町 ¹⁶ 恵庭市 ¹⁶	32 (5.2)		千歳市 ⁴ 恵庭市 ⁴	8 (1.4)
		その他市町村		133 (2.9)			南幌町	1 (0.2)		長沼町	3 (0.5)
				その他市町村	15 (2.5)		その他市町村	7 (1.2)			
1市2町内			1市2町内			1市2町内					
34 (0.7)			53 (8.7)			30 (5.1)					

(注) ()内は構成比。端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。

(参考)平成12年国勢調査報告第6巻その2「第2表 常住地による従業・通学市区町村別15歳以上就業者数及び15歳以上通学者数」

(3) 他市町村での購買率

北広島市・長沼町は札幌市、南幌町は江別市での購買率が高くなっています。特に北広島市は札幌市での購買率が50.2%と目立っています。



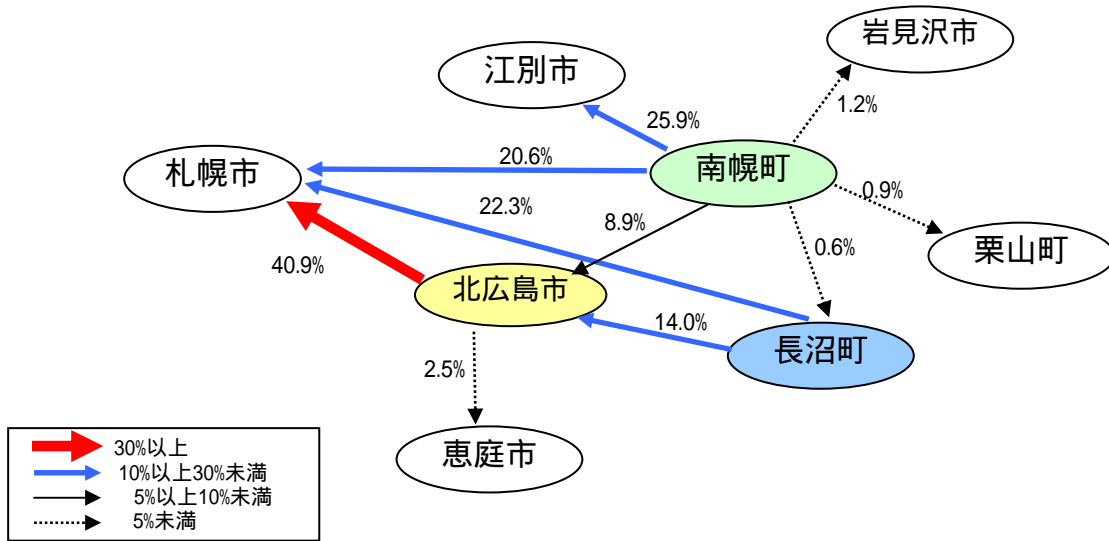
(単位: %)

北広島市			長沼町			南幌町		
当該市町村での購買率	33.0		当該市町村での購買率	38.4		当該市町村での購買率	24.9	
他市町村での購買率	65.2		他市町村での購買率	59.7		他市町村での購買率	73.1	
購買先	札幌市厚別区	20.4	購買先	札幌市	17.9	購買先	江別市	36.1
購買先	札幌市中央区	17.8	購買先	恵庭市	11.2	購買先	札幌市	19.4
購買先	札幌市清田区、豊平区	11.7	購買先	北広島市	6.3	購買先	北広島市	10.1
購買先	恵庭市	6.4	購買先	江別市	5.8	購買先	栗山町	2.0
購買先	札幌市白石区	0.3	購買先	千歳市	1.5	購買先	岩見沢市	0.6
購買先	その他	8.6	購買先	その他	17.0	購買先	その他	4.9
その他の購買率	1.8		その他の購買率	1.9		その他の購買率	2.0	
1市2町内	-		1市2町内	6.3		1市2町内	10.1	

* 「北海道広域商圏動向調査報告書(平成4年3月)」北海道商工労働観光部調

(4) 他市町村への入院・通院者数

1市2町とも他市町村への依存度が約5割～6割と高い状況にあります。



(単位:人、%)

市町村名	北広島市			市町村名	長沼町			市町村名	南幌町			
	入院	通院	入院・通院計		入院	通院	入院・通院計		入院	通院	入院・通院計	
入院・通院者数	514 (100.0)	6,645 (100.0)	7,159 (100.0)	入院・通院者数	266 (100.0)	2,972 (100.0)	3,238 (100.0)	入院・通院者数	154 (100.0)	1,663 (100.0)	1,817 (100.0)	
当該市町村での入院・通院者数	222 (43.2)	3,641 (54.8)	3,863 (54.0)	当該市町村での入院・通院者数	142 (53.4)	1,359 (45.7)	1,501 (46.4)	当該市町村での入院・通院者数	65 (42.2)	599 (36.0)	664 (36.5)	
他市町村への入院・通院者数	292 (56.8)	3,004 (45.2)	3,296 (46.0)	他市町村への入院・通院者数	124 (46.6)	1,613 (54.3)	1,737 (53.6)	他市町村への入院・通院者数	89 (57.8)	1,064 (64.0)	1,153 (63.5)	
入院通院先市町村	札幌市	241 (46.9)	2,686 (40.4)	2,927 (40.9)	札幌市	64 (24.1)	659 (22.2)	723 (22.3)	札幌市	46 (29.9)	328 (19.7)	374 (20.6)
	恵庭市	25 (4.9)	153 (2.3)	178 (2.5)	北広島市	20 (7.5)	435 (14.6)	455 (14.1)	江別市	19 (12.3)	451 (27.1)	470 (25.9)
	その他	26 (5.1)	165 (2.5)	191 (2.7)	その他	40 (15.0)	519 (17.5)	559 (17.3)	北広島市	22 (14.3)	139 (8.4)	161 (8.9)
									岩見沢市	0 (0.0)	22 (1.3)	22 (1.2)
									栗山町	0 (0.0)	16 (1.0)	16 (0.9)
									長沼町	0 (0.0)	11 (0.7)	11 (0.6)
									その他	2 (1.3)	97 (5.8)	99 (5.4)

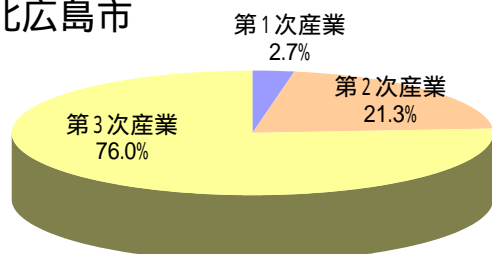
(参考)平成8年3月「地域保健医療総合システム構築に関する研究」(財団法人北海道地域医療振興財団)資料編「5 市町村別医療の自給及び依存状況」

3 産業状況

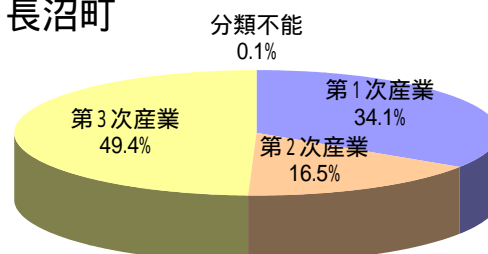
(1) 産業別就業者数

北広島市は第1次産業が極端に低く、第3次産業に占める割合が圧倒的に高い傾向にあります。長沼町は、農業のまちということで第1次産業の占める割合が1市2町の中で一番高くなっています。南幌町は、住宅団地の造成等により第3次産業の就業者が増加し、産業別就業者構造が大きく変化しています。

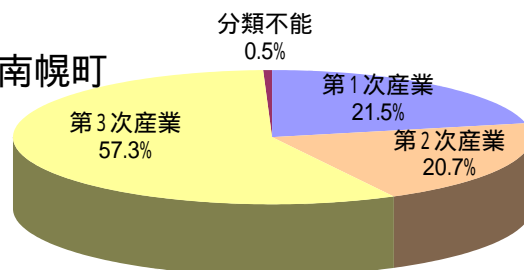
北広島市



長沼町



南幌町



(単位:人、%)

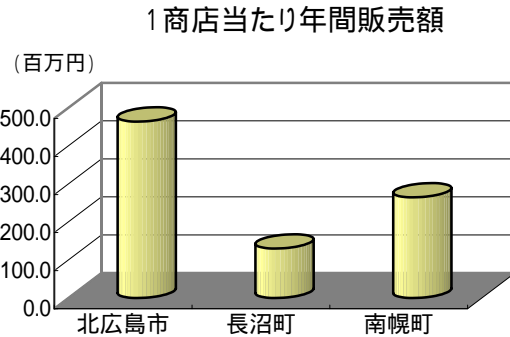
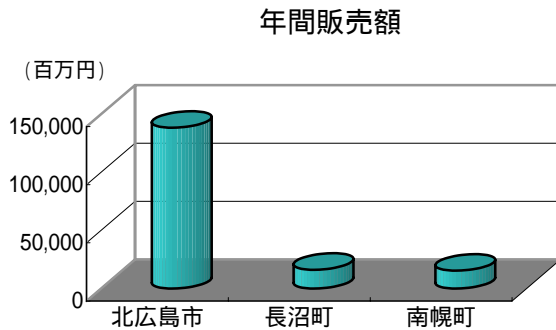
市町村名	北広島市	長沼町	南幌町
H12 就業者総数	26,051 (100.0)	6,752 (100.0)	4,753 (100.0)
第1次産業	704 (2.7)	2,300 (34.1)	1,024 (21.5)
農業	684 (2.6)	2,284 (33.8)	1,020 (21.5)
林業	14 (0.1)	14 (0.2)	4 (0.1)
漁業	6 (0.0)	2 (0.0)	0 (0.0)
第2次産業	5,545 (21.3)	1,112 (16.5)	983 (20.7)
第3次産業	19,802 (76.0)	3,333 (49.4)	2,723 (57.3)
分類不能	0 (0.0)	7 (0.1)	23 (0.5)

(注) ()内は構成比。

(参考) 平成12年国勢調査報告第3巻その2「第14表産業(大分類)、従業上の地位(7区分)、年齢(5歳階級)、男女別15歳以上就業者数」

(2) 商店数・従業者数・年間販売額等

北広島市は商店数が多く、郊外型の大型店舗等もあることから、長沼町、南幌町に比べて、年間販売額が突出しています。

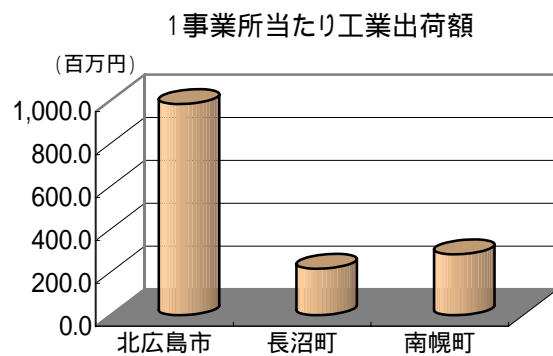
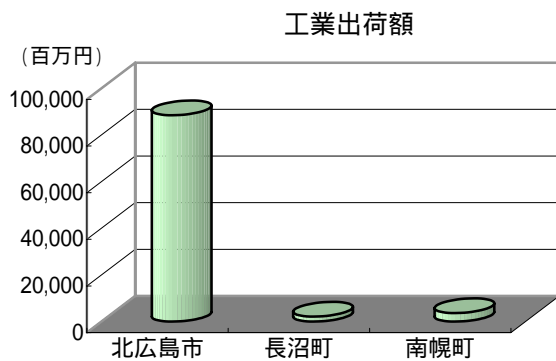


市町村名	北広島市	長沼町	南幌町	合計
商店数 A	298	124	58	480
従業者数 B	3,642	769	437	4,848
年間販売額(百万円) C	138,227	16,104	15,340	169,671
1商店当たり従業者数 B÷A	12.2	6.2	7.5	10.1
1商店当たり年間販売額 C÷A	463.8	129.9	264.5	353.5

(参考2)平成11年商業統計調査

(3) 事業所数・従業員数・工業出荷額

北広島市は事業所が多く、大手製造業等もあることから、2町に比べて工業出荷額が突出しています。

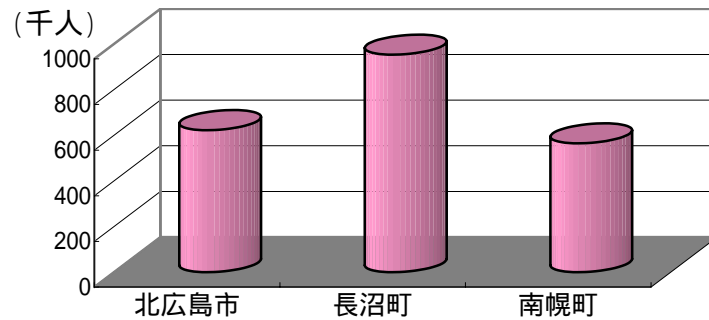


市町村名	北広島市	長沼町	南幌町	合計
事業所数 A	90	10	13	113
従業者数(人) B	2,914	147	330	3,391
工業出荷額(百万円) C	88,505	2,162	3,686	94,353
1事業所当たり従業者数 B÷A	32.4	14.7	25.4	30.0
1事業所当たり工業出荷額 C÷A	983.4	216.2	283.5	835.0

*平成13年 工業統計調査

(4) 観光入り込み数

1市2町で約214万人にのぼり、長沼町の入り込み数が目立っています。



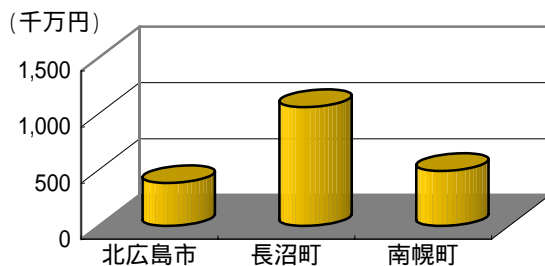
	北広島市	長沼町	南幌町	合計
入り込み総数(千人)	622	952.7	564	2,138.7

*平成13年度版 北海道観光入込客数調査報告書

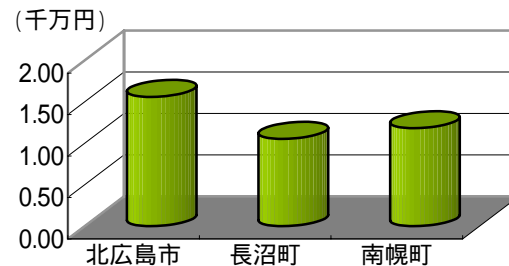
(5) 農家数・農業人口・耕地面積・農業粗生産額

農業を基幹産業とする長沼町がほとんどの項目で多くなっています。なお、北広島市の「1農家当たりの粗生産額」が多いのは、一つの農業事業体が農業粗生産額の約4割を占めるためです。

農業粗生産額



1農家当たりの粗生産額



市町村名	北広島市	長沼町	南幌町	合計
農家数	245	1,006	415	1,666
農家人口(人)	824	4,235	1,876	6,935
耕地面積(ha)	2,410	11,500	5,700	19,610
農業粗生産額(千万円)	382	1,059	490	1,931
1農家当たりの粗生産額	1.56	1.05	1.18	1.16

*農家数、農家人口：農林水産省「2000年世界農林業センサス」

*耕地面積：農林水産省「平成13年作物統計調査」

*農業粗生産額：農林水産省「平成12年生産農業所得統計」

(6) 農協の設置状況

北広島市は広域的な農業協同組合を組織しています。

名称	北広島市	長沼町	南幌町	圏域外市町村名
道央農業協同組合				江別市、恵庭市、千歳市
ながめま農業協同組合				
南幌町農業協同組合				

(注1)平成14年4月1日現在

4 行政体制

特別職を含めた職員数、議員数の1市2町合計は類似団体(人口、産業構造の類似)平均と比較して相当多くなっており、合併した場合は職員数、議員数を大幅に削減することができるなどの効果は期待できます。ただし、人員削減を図るには相応の期間が必要になることに留意する必要があります。

(1)部門別職員数

合計職員数と類似団体比較では、普通会計で65人の差があります。職員1人あたりの住民数は、北広島市が自治体として規模が大きいことから多くなっています。

(単位:人、%)

部門	市町村名	北広島市	長沼町	南幌町	合計
議会	議会	5 (0.9)	3 (1.1)	3 (1.9)	11
総務	総務部門計	92 (17.4)	36 (13.6)	28 (17.4)	156
税務	税務	28 (5.3)	11 (4.2)	8 (5.0)	47
民生	民生	78 (14.7)	31 (11.7)	19 (11.8)	128
衛生	衛生部門計	25 (4.7)	7 (2.7)	12 (7.5)	44
労働	労働	1 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	1
農林水産	農林水産部門計	13 (2.5)	14 (5.3)	16 (9.9)	43
商工	商工部門計	8 (1.5)	5 (1.9)	2 (1.2)	15
土木	土木部門計	62 (11.7)	20 (7.6)	15 (9.3)	97
一般行政合計(A)		312 (58.9)	127 (48.1)	103 (64.0)	542
教育	教育部門計	64 (12.1)	22 (8.3)	15 (9.3)	101
消防	消防	89 (16.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	89
特別行政合計(B)		153 (28.9)	22 (8.3)	15 (9.3)	190
普通会計(A+B=C)		465 (87.7)	149 (56.4)	118 (73.3)	732
病院	病院	0 (0.0)	103 (39.0)	34 (21.1)	137
水道	水道	26 (4.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	26
交通	交通	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0
下水道	下水道	18 (3.4)	5 (1.9)	4 (2.5)	27
その他	その他	21 (4.0)	7 (2.7)	5 (3.1)	33
公営企業等会計計(D)		65 (12.3)	115 (43.6)	43 (26.7)	223
合計(C+D)		530 (100.0)	264 (100.0)	161 (100.0)	955
(注)平成14年4月1日現在				類似団体平均(市 -3) (普通会計)	667

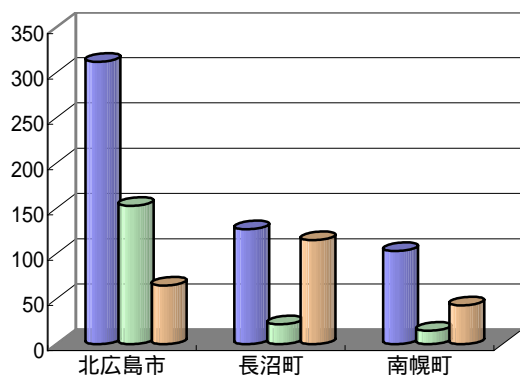
* 職員1人当たりの住民数(普通会計)

職員1人当たりの住民数	126.17	85.67	83.62	111.06
人口(平成14年3月)	58,667	12,765	9,867	81,299

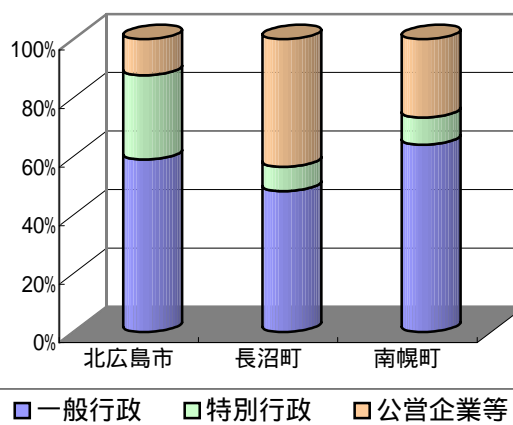
* 専門職員の状況

社会福祉士(再掲)	1 (0.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	1
保健師(再掲)	9 (1.7)	7 (2.7)	5 (3.1)	21
土木技師(再掲)	25 (4.7)	10 (3.8)	6 (3.7)	41
建築技師(再掲)	8 (1.5)	3 (1.1)	2 (1.2)	13
専門職合計(再掲)	43 (8.1)	20 (7.6)	13 (8.1)	76

部門別内訳(人)



部門別比率(%)



(2) 特別職、議会議員報酬の状況

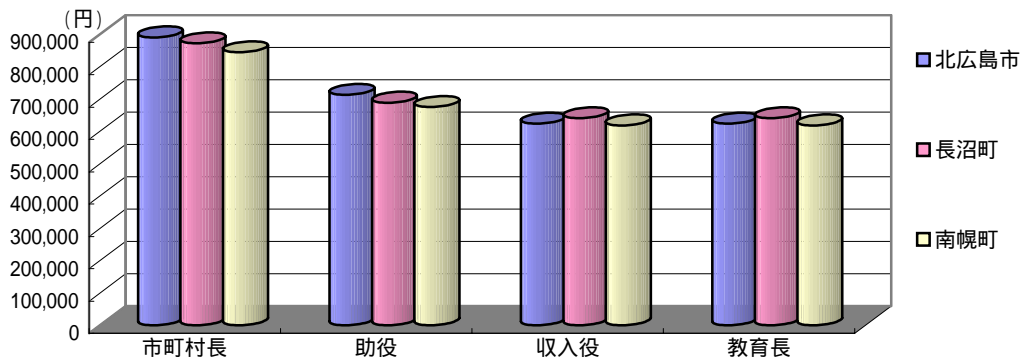
特別職の報酬に比べ、議員報酬の格差が大きく、月額で最高額と最低額で1.7倍の差があります。

特別職報酬

(単位:円)

市町村名		北広島市	長沼町	南幌町	平均
特別職 報酬	市町村長	890,150	872,000	844,000	868,717
	助役	712,500	688,000	675,000	691,833
	収入役	623,200	640,000	618,000	627,067
	教育長	623,000	640,000	618,000	627,000

(注) 平成15年4月1日現在の状況を記載。



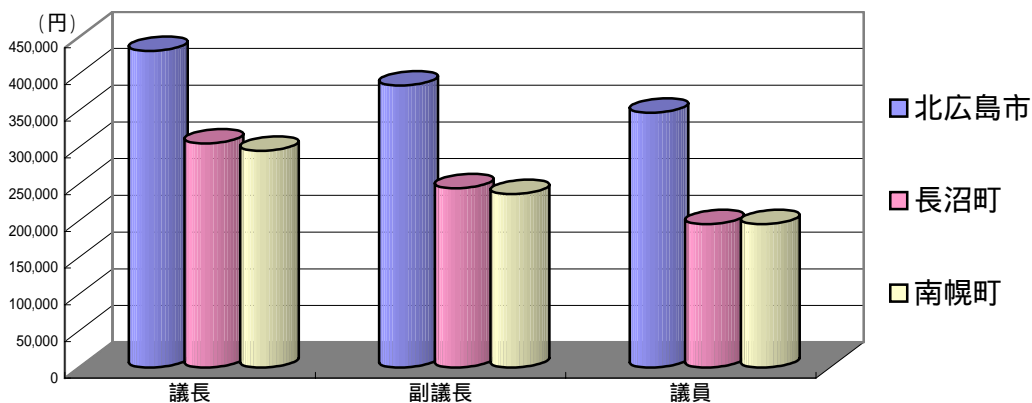
議員定数、議員報酬

(単位:人、円)

市町村名		北広島市	長沼町	南幌町	合計
議員定数	法定定数	30	22	18	70
	条例定数	26	20	14	60

市町村名		北広島市	長沼町	南幌町	平均
議員報酬	議長	431,000	305,000	295,000	343,667
	副議長	384,000	244,000	236,000	288,000
	議員	347,000	195,000	195,000	245,667

(注) 議員定数・報酬は、平成15年4月1日現在の状況を記載。



(3) 広域行政の状況

既存の一部事務組合については、それぞれの支庁(石狩、空知)を単位として構成されることが中心となっており、多くが1市2町以外の自治体が多く含まれています。

一部事務組合

(単位:千円)

名 称	処理事務	北広島市	長沼町	南幌町	1市2町外市町村名
石狩東部広域水道企業団	水道用水供給に関する事務				北海道、江別市、千歳市、恵庭市、由仁町、長幌上水道企業団
石狩教育研修センター組合	教育に関する研修及び調査研究その他教育の普及に関する事務				江別市、千歳市、恵庭市、石狩市、当別町、新篠津村、厚田村、浜益村
札幌広域圏組合	広域市町村圏計画に関する事務等				札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、石狩市、当別町、新篠津村、厚田村、浜益村
恵庭青年の家組合	教育関係としての青年の家の設置、管理運営				恵庭市、石狩市、当別町、新篠津村、厚田村、浜益村
南空知ふるさと市町村圏組合	ふるさと市町村圏の計画に関する事務				夕張市、岩見沢市、美唄市、三笠市、北村、栗沢町、栗山町、月形町、由仁町
空知教育研修センター組合	空知管内教職員の研修計画及び実施				空知支庁管内25市町村
南空知公衆衛生組合	塵芥処理				由仁町
南空知葬斎組合	火葬場				栗山町、由仁町
道央地区環境衛生組合	し尿処理				由仁町
南空知消防組合	常備消防				栗山町、由仁町
長幌上水道企業団	上水道				

(注)平成14年度の状況を記載。

5 財政状況

(1) 財政状況

北広島市は歳入に占める市町村民税(自主財源)の割合が多く、長沼町、南幌町は地方交付税(依存財源)の割合が高くなっています。

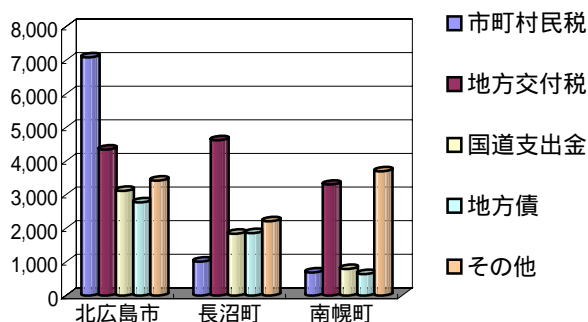
(単位:百万円、%)

市町村名	北広島市	長沼町	南幌町	合計	類似団体平均	差し引き
市町村民税	7,087	1,013	685	8,785	7,513	1,272
構成比	34.2%	8.8%	7.5%	21.2%	30.6%	-
地方交付税	4,340	4,623	3,300	12,263	5,788	6,475
構成比	20.9%	40.1%	36.2%	29.6%	23.5%	-
国道支出金	3,112	1,834	791	5,737	3,780	1,957
構成比	15.0%	15.9%	8.7%	13.9%	15.4%	-
地方債	2,768	1,859	640	5,267	2,708	2,559
構成比	13.4%	16.1%	7.0%	12.7%	11.0%	-
その他	3,415	2,209	3,696	9,320	4,800	4,520
構成比	16.5%	19.2%	40.6%	22.5%	19.5%	-
合計	20,722	11,538	9,112	41,372	24,589	16,783

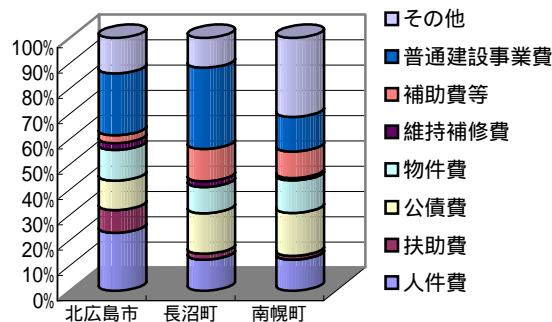
市町村名	北広島市	長沼町	南幌町	合計	類似団体平均	差し引き
人件費	4,660	1,407	1,115	7,182	5,576	1,606
構成比	22.9%	12.3%	12.3%	17.6%	23.0%	-
扶助費	1,831	271	134	2,236	2,346	-110
構成比	9.0%	2.4%	1.5%	5.5%	9.7%	-
公債費	2,366	1,837	1,543	5,746	2,682	3,064
構成比	11.6%	16.0%	17.0%	14.0%	11.1%	-
物件費	2,482	1,187	1,166	4,835	2,817	2,018
構成比	12.2%	10.3%	12.8%	11.8%	11.6%	-
維持補修費	528	268	81	877	409	468
構成比	2.6%	2.3%	0.9%	2.1%	1.7%	-
補助費等	638	1,459	956	3,053	546	2,507
構成比	3.1%	12.7%	10.5%	7.5%	2.3%	-
普通建設事業費	4,992	3,683	1,239	9,914	6,136	3,778
構成比	24.5%	32.1%	13.7%	24.2%	25.3%	-
その他 (繰出金・出資金等)	2,859	1,361	2,842	7,062	3,705	3,357
構成比	14.0%	11.9%	31.3%	17.3%	15.3%	-
合計	20,356	11,473	9,076	40,905	24,217	16,688

(注1)平成13年度決算の状況を記載。端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。

歳入内訳(百万円)



歳出内訳(百万円)



(2) 市町村民税の状況

(単位:千円)

市町村名	北広島市	長沼町	南幌町	合計
市町村民税(個人)	2,146,654	317,050	205,719	2,669,423
市町村民税(法人)	445,179	61,064	35,226	541,469
固定資産税	3,374,876	464,733	374,296	4,213,905
軽自動車税	39,464	18,535	12,737	70,736
市町村たばこ税	384,793	92,848	54,629	532,270
鉱産税・特別土地保有税・入湯税	99,211	14,877	2,161	116,249
都市計画税	597,238	43,697	0	640,935
合計	7,087,415	1,012,804	684,768	8,784,987

(注1)平成13年度決算の状況を記載。

(3) 各種財政指標の状況

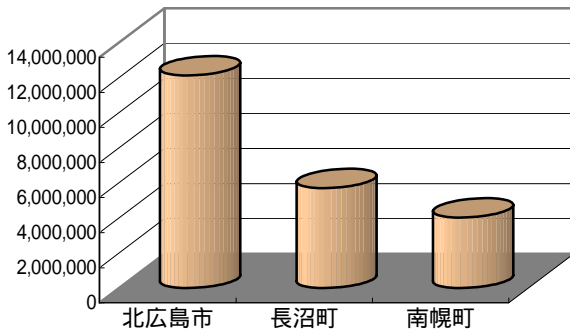
各種財政指標の状況

財政力指数については、北広島市は都市部平均0.479(札幌市を除く)を大きく上回っており、長沼町、南幌町は町村部平均0.215と同等で、町村部では上位にランクしています。

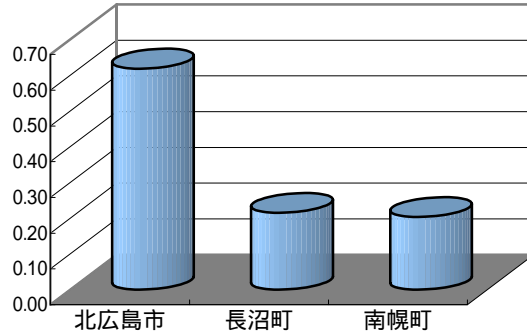
市町村名	北広島市	長沼町	南幌町	全道平均
標準財政規模(千円)	12,123,319	5,691,007	4,011,623	7,987,924
財政力指数(H11～H13) (順位)	0.618 5位/34市	0.215 48位/178町村	0.203 63位/178町村	0.409 —
経常収支比率(%)	85.8%	77.1%	86.1%	84.8%
起債制限比率(%)	12.2%	11.3%	12.0%	11.3%
公債費負担比率(%)	16.1%	24.9%	27.3%	19.0%

(注1)平成13年度決算の状況を記載。

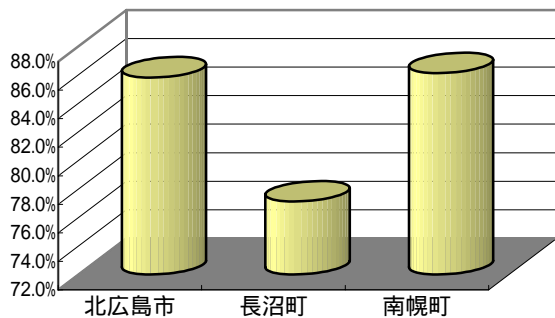
標準財政規模(千円)



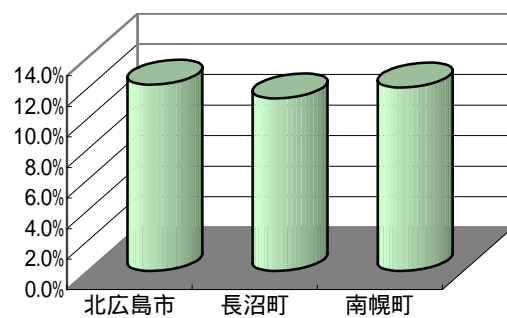
財政力指数(H11～H13)



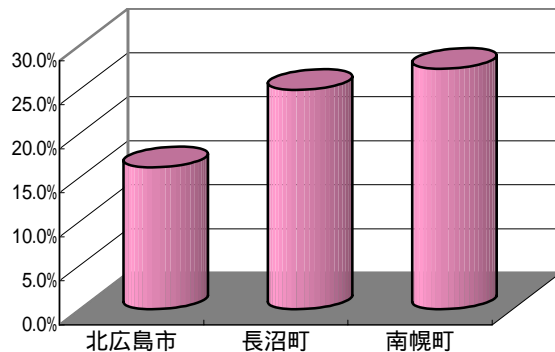
経常収支比率(%)



起債制限比率(%)



公債費負担比率(%)



標準財政規模 当該団体が合理的かつ妥当な水準において行政を行うための標準的な一般財源の規模を示したもの。

経常収支比率 歳出のうち人件費や公債費など経常的な支出に市税などの経常的収入がどの程度充当されているかにより、財政構造の弾力性を判断する指標です。一般的には市で80.0、町村で75.0を超えると弾力性を失いつつあると考えられます。

公債費負担比率 一般財源収入額(市税、地方譲与税、地方交付税、財産収入等)に占める地方債の元利償還金の割合をいい、この比率が高いほど財政運営の硬直化が進んでいると考えられます。ただし、繰上げ償還等により一時的に高くなる場合があります。

財政力指数 財政の健全性をあらわす指数で、この指数が高いほど財政力が高いとみられ1.00を超える団体は普通交付税の不交付団体となります。

起債制限比率 地方債の制限を受ける指数を表すもので、20.0を超えると事業に必要な財源となる地方債の発行が制限されます。

基金残高の状況

基金残高の住民一人当たりの金額で比較すると、長沼町、南幌町の順で多く、人口規模が大きい北広島市が一番少なくなっています。

(単位:千円)

市町村名	北広島市	長沼町	南幌町	合計
基金	418,276	466,537	412,564	1,297,377
財政調整基金	666,080	659,237	858,915	2,184,232
減債基金	3,289,362	1,338,393	309,837	4,937,592
その他特定目的基金	4,373,718	2,464,167	1,581,316	8,419,201
合計 (A)				

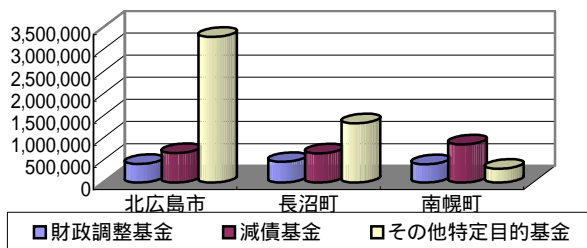
人口(平成14年3月)	58,667	12,452	9,867	80,986
人口1人当たり	74.6	197.9	160.3	104.0

(参考)

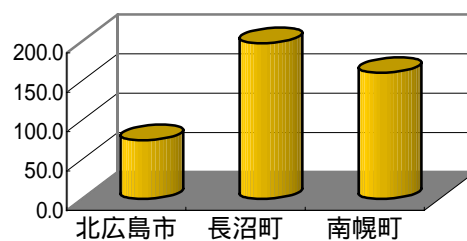
備荒資金 (B)	121,125	300,094	279,594	700,813
(A) + (B)	4,494,843	2,764,261	1,860,910	9,120,014

(注1)平成13年度決算の状況を記載。

各種基金残高(千円)



人口1人当たり残高(千円)



地方債残高の状況

地方債の残高について、住民一人当たりの金額で比較すると、人口規模が小さい、長沼町、南幌町が多くなっています。

市町村名	北広島市	長沼町	南幌町	合計
地方債残高 (C)	23,256,219	16,842,959	12,154,541	52,253,719

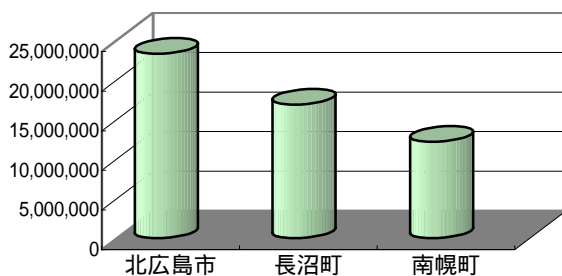
人口(平成14年3月)	58,667	12,452	9,867	80,986
人口1人当たり	396.4	1,352.6	1231.8	645.2

(参考)

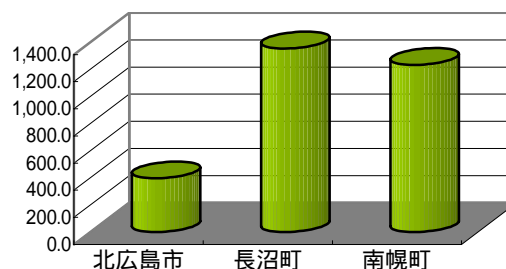
公営企業会計の地方債残高(D)	13,098,973	4,996,852	3,442,116	21,537,941
(C) + (D)	36,355,192	21,839,811	15,596,657	73,791,660

(注1)平成13年度決算の状況を記載。

地方債残高(千円)



人口一人当たり地方債残高(千円)



(4) 繰出金の状況

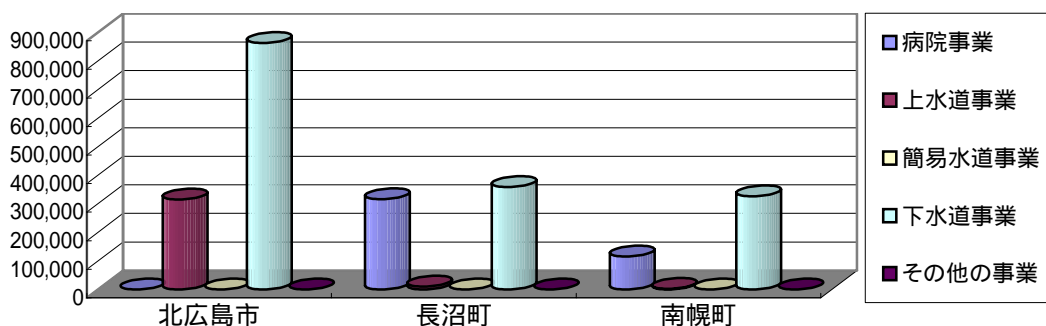
(単位:千円)

市町村名	北広島市	長沼町	南幌町	合計
公営企業会計				
病院事業	0	316,519	115,949	432,468
上水道事業	315,450	10,900	2,154	328,504
簡易水道事業	0	0	0	0
下水道事業	863,330	359,555	327,105	1,549,990
その他の事業	0	0	0	0
小計	1,178,780	686,974	445,208	2,310,962
国民健康保険事業会計	441,882	124,075	79,680	645,637
老人保健医療事業会計	288,954	99,024	52,839	440,817
介護保険事業会計	395,977	85,683	67,235	548,895
その他の事業会計	88,894	0	363	89,257
繰出金合計	2,394,487	995,756	645,325	4,035,568

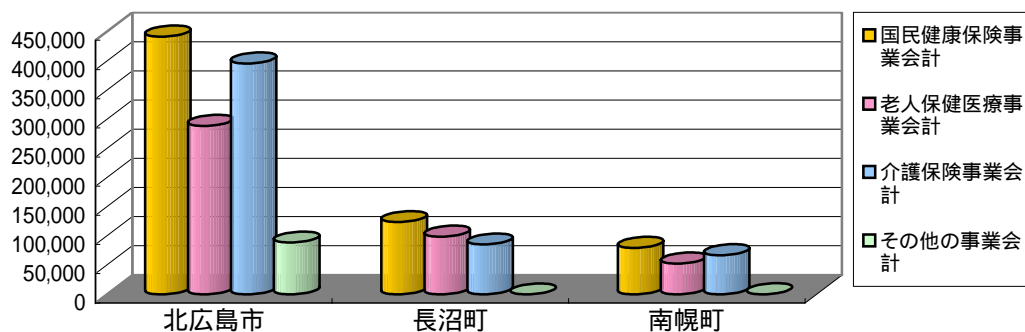
人口(平成14年3月)	58,667	12,452	9,867	80,986
人口1人当たり	40.8	80.0	65.4	49.8

(注1)平成13年度決算の状況を記載。

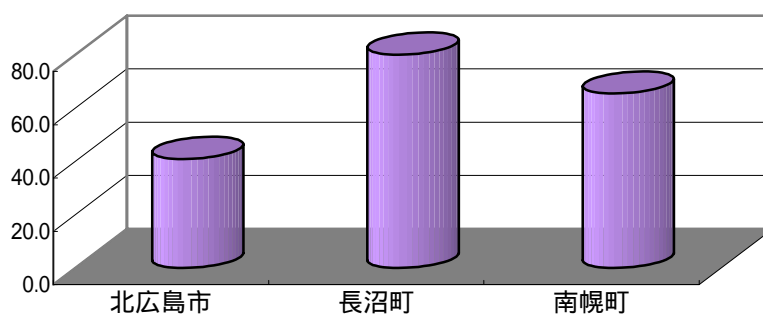
公営企業会計(千円)



各種事業会計(千円)



人口1人当たり繰出金(千円)



(5)市町村税の税率等

人口規模により個人市町村民税均等割に500円の差があります。個人に係わる個人市町村民税所得割、固定資産税に税率の差はありません。都市計画税については、北広島市、長沼町で課税されています。

市 町 村 名			北広島市	長沼町	南幌町
市町村 民税	個人	均等割 (円)	2,500	2,000	2,000
		所得割 (%)	3%、8%、10%	3%、8%、10%	3%、8%、10%
	法人	法人税割 (%)	14.7%	12.3%	14.7%
		均等割 1号法人 (円)	3,600,000	3,600,000	3,600,000
固定資産税 (%)			1.4%	1.4%	1.4%
都市計画税 (%)			0.3%	0.3%	-
軽自動車税	原動機付自転車 (50CC以下) (円)		1,000	1,000	1,000
	軽自動車 (2輪125~250CC) (円)		2,400	2,400	2,400
	軽自動車 (4輪乗用自家用) (円)		7,200	7,200	7,200
入湯税			宿泊 150円 日帰り 75円	宿泊 40円 日帰り 40円	宿泊 150円

(注)平成14年度の状況を記載。

(6) 国民健康保険料(税)・介護保険料の状況

各要素とも若干のバラツキがあり、特に資産割では、北広島市と長沼町、南幌町では大きな開きがあります。一世帯当たりの平均保険料(税)では、最高と最低では年間約10万円の差があります。

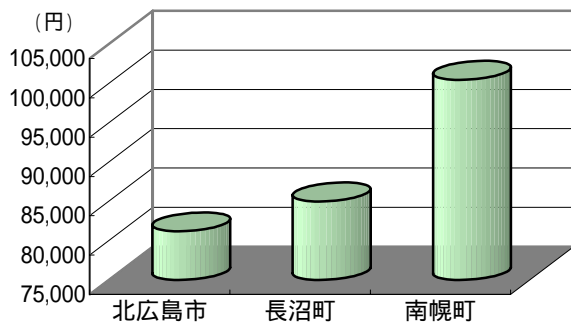
国民健康保険料(税)

(単位:円)

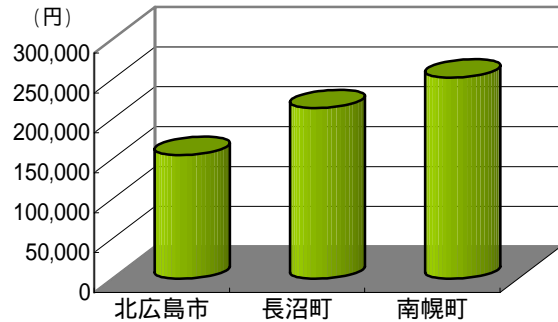
市町村名		北広島市	長沼町	南幌町
基礎 賦 課 分	所得割	8.00%	7.00%	8.80%
	資産割	30.00%	65.00%	75.00%
	均等割	25,000	30,000	32,000
	平等割	32,000	37,000	44,000
	賦課限度額	500,000	520,000	530,000
	一人当平均	81,185	84,977	100,456
	一世帯当平均	154,852	213,609	251,838
介護 納 付 金 分	所得割	1.12%	0.60%	0.40%
	資産割	2.20%	5.00%	3.70%
	均等割	4,800	4,000	5,000
	平等割	4,000	5,000	3,200
	賦課限度額	70,000	70,000	70,000
	一人当平均	14,852	15,092	14,522
	一世帯当平均	20,030	22,528	21,723

(注1)平成14年度状況を記載。

一人当平均(円):基礎賦課分



一世帯当平均(円):基礎賦課分



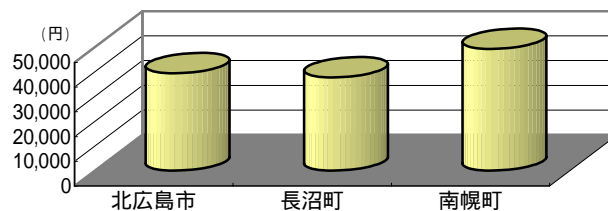
介護保険料(第1号被保険者)(年額)

(単位:円)

市町村名		北広島市	長沼町	南幌町
保 険 料 額	第1段階	19,200	18,800	24,600
	第2段階	28,800	28,200	36,900
	第3段階	39,400	37,700	49,200
	第4段階	48,000	47,100	61,500
	第5段階	57,600	56,500	73,800

(注)H13年10月以降の保険料額

第3段階の比較



6 住民サービスに係る料金

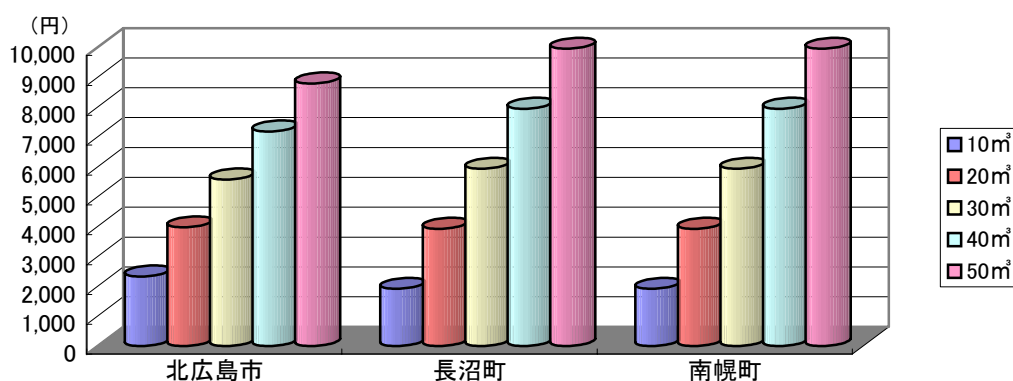
(1) 水道料金

北広島市と長沼町、南幌町を比較すると、基本料金の設定に違いはあるものの、ほぼ同じ水準にあると思われます。

(単位:円)

市町村名	北広島市	長沼町	南幌町
10m ³	2,326	1,914	1,914
20m ³	3,969	3,924	3,924
30m ³	5,575	5,934	5,934
40m ³	7,182	7,944	7,944
50m ³	8,788	9,954	9,954

(注)平成14年4月1日現在



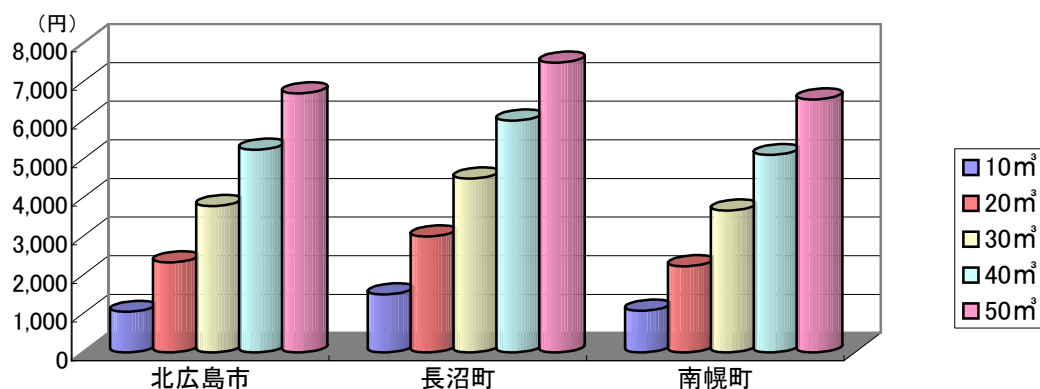
(2) 下水道料金

排出水量10m³当たりの金額では、北広島市と長沼町では約1.5倍の差があります。

(単位:円)

市町村名	北広島市	長沼町	南幌町
10m ³	1,050	1,500	1,080
20m ³	2,331	3,000	2,230
30m ³	3,790	4,500	3,670
40m ³	5,250	6,000	5,110
50m ³	6,709	7,500	6,550

(注)平成14年4月1日現在



(3) 保育料

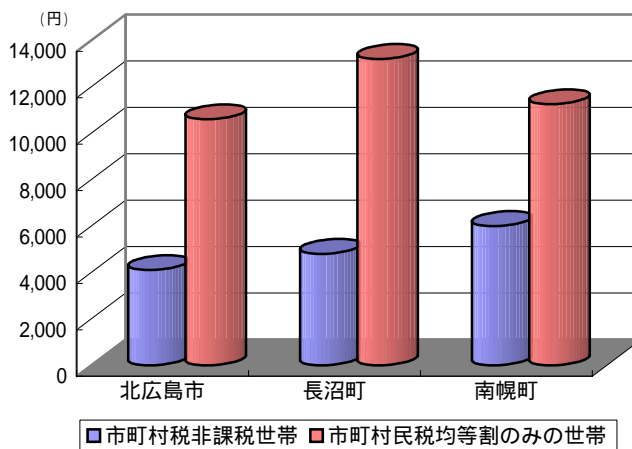
各自治体で所得水準の段階設定に差があり一概に比較はできませんが、北広島市と長沼町の3歳未満の保育料で2.1倍の差があります。

(単位:円)

北広島市			長沼町			南幌町		
生活保護世帯	0		生活保護世帯	0		生活保護世帯	0	
市町村民税非課税世帯(母子世帯は無料)	3歳未満	5,400	市町村民税非課税世帯	3歳未満	7,200	市町村民税非課税世帯	3歳未満	9,000
	3歳以上	4,100		3歳以上	4,800		3歳以上	6,000
市町村民税課税世帯(均等割のみ)	3歳未満	14,100	市町村民税課税世帯(均等割のみ)	3歳未満	15,600	市町村民税課税世帯(均等割のみ)	3歳未満	14,250
	3歳以上	10,600		3歳以上	13,200		3歳以上	11,250
所得水準に応じた保育料を定めている。			所得水準に応じた保育料を定めている。			所得水準に応じた保育料を定めている。		
所得税額708,000円以上の世帯	3歳未満	75,300	所得税額64,000円以上の世帯	3歳未満	35,600	所得税額370,000円以上の世帯	3歳未満	44,500
	3歳以上	39,400		3歳以上	32,400		3歳以上	41,500
特記事項	保育料一般基準額は3段階(3歳未満児・3歳児・4歳以上児)に分かれています。		特記事項	保育料一般基準額は3段階(3歳未満児・3歳児・4歳以上児)に分かれています。		特記事項	保育料一般基準額は3段階(3歳未満児・3歳児・4歳以上児)に分かれています。	

*平成14年4月現在

保育料(3歳児以上)



所得税課税世帯は各市町で階層区分が異なるので比較しておりません。

(4) 乳幼児医療費助成

北広島市、長沼町、南幌町とも通院の支給対象を拡大しています。また、所得制限や初診負担などは各市町で独自の取り組みが行われています。

市町村名	北広島市	長沼町	南幌町
支給対象(通院)	4歳未満	6歳未満	4歳未満
支給対象(入院)	6歳未満	6歳未満	6歳未満
初診時本人負担	全額助成	本人負担	全額助成
所得制限	あり	なし	なし

(5) 主な検診負担金

(単位:円)

市町村名	北広島市	長沼町	南幌町
一般健康診断	1,000	2,000	2,500
胃ガン検診	2,000	2,000	1,000
子宮ガン検診	1,000	1,400	1,000
肺ガン・結核検診	0	800	200

(6) 学校給食費

(単位:円)

市町村名	北広島市	長沼町	南幌町
小学校(一食当たり)	231	206	229
小学校(年額)	42,800	39,140	43,560
標準日数/年(日)	185日	約190日	190日
中学校(一食当たり)	300	255	277
中学校(年額)	52,500	48,450	52,680
標準日数/年(日)	175日	約190日	190日

* 小学校は5年生、中学校は2年生を標準とする。

(7) 家庭ごみ収集料金

(単位:円)

市町村名	北広島市	長沼町	南幌町
一般家庭ゴミ	無料	無料	無料
大型ゴミ	無料	無料	無料
家電4品目	収集せず	収集せず	収集せず

(8) 証明手数料

(単位:円)

市町村名	北広島市	長沼町	南幌町
戸籍謄本・抄本	450	450	450
除籍謄本・抄本	750	750	750
戸籍附票	200	200	200
身分証明	300	300	300
住民票	200	200	200
外国人登録	300	200	300
印鑑登録証	300	300	300
住民税証明書	-	300	-
所得課税証明書	450	300	300

(注)平成14年4月1日現在の状況を記載。

7 各種施設の設置状況

(単位:箇所、人)

市 町 村 名				北広島市		長沼町		南幌町	
老人福祉施設	特別養護老人ホーム	施設数	定員	2	150	1	120	1	70
	老人保健施設	施設数	定員	1	100			1	70
	療養型病床群	施設数	定員	5	297			1	24
	ショートステイ	施設数	定員	5	25	1	2	2	10
	デイサービス	施設数	定員	4	158	2	45	2	75
	養護老人ホーム	施設数	定員						
	軽費老人ホーム	施設数	定員						
	高齢者生活福祉センター	施設数	定員						
	在宅介護支援センター	施設数	定員	3		1		1	
保健センター	施設数	定員			1		1		
障害者及び児童福祉施設	知的障害者施設等	施設数	定員	10	590	1	40	1	50
	保育園(所)	施設数	定員	7	565	4	255	2	140
	児童館等	施設数	定員						
	へき地保育所	施設数	定員						
	グループホーム	施設数	定員	8	32				
	ホームヘルプ	施設数	定員	7					
	ショートステイ	施設数	定員	3					
	デイサービス	施設数	定員						
	助産施設	施設数	定員						
療育センター	施設数	定員							
教育施設	大学	施設数	定員	1	350				
	短大	施設数	定員						
	専修	施設数	定員	1	50				
	高校	施設数	定員	3	1,044	1	360	1	240
	中学校	施設数	実数	6		3		1	482
	小学校	施設数	実数	10		5		3	891
	幼稚園	施設数	定員	8	1,020	1	160	2	301
文化交流施設	市民文化ホール	施設数		1					
	公民館・市民会館	施設数		2		6		1	
	地区会館・コミュニティセンター等	施設数		5					
	研修センター	施設数		3					
	図書館	施設数		1		1			
	郷土資料館	施設数							1
スポーツ施設	体育館	施設数		4		1		1	
	プール	施設数		8		4		1	
	スポーツクラブ(センター)	施設数		1		1			
	テニスコート・多目的コート	施設数		12		3		3	
	野球場・ソフトボール場	施設数		1		1		3	
	サッカー場	施設数						1	
	ゲートボール場	施設数		5		1		1	
	ゴルフ場・ゴルフ練習場	施設数		14		1		1	
	パークゴルフ場	施設数		6		6		3	
	陸上競技場	施設数							
	運動公園・スポーツ広場	施設数		2		1		1	
	スキー場	施設数		2		1			
	スケート場	施設数		1		1			
その他	温泉施設	施設数		2		2		1	
	キャンプ場	施設数		1		2		2	

(注1)平成14年4月1日現在

(注2)民間施設をふくむ

8 都市基盤の状況

北広島市と長沼町、南幌町を比較すると、道路舗装率、ごみ収集率、下水道普及率などに差がみられます。

市 町 村 名		北広島市	長沼町	南幌町
道路	道路舗装率(%)	77.5	45.8	59.3
橋りょう	永久橋比率(%)	100.0	100.0	100.0
都市計画	区画整理実施率(%)	100.0	-	-
都市公園	都市公園面積(m ²)	3,733.2	1,223.3	834,566
公営住宅	市町村営住宅比率(%)	0.6	7.9	5.1
	入居競争率(倍)	3.6	1.2	1.8
ごみ処理施設	実施率(%)	100.0	99.0	99.0
	収集率(%)	100.0	81.3	84.0
上水道	普及率(%)	97.4	96.9	96.8
下水道	普及率(%)	94.8	53.6	69.4
小学校施設	非木造校舎比率(%)	99.9	100.0	99.7
中学校施設	非木造校舎比率(%)	99.8	99.6	100.0

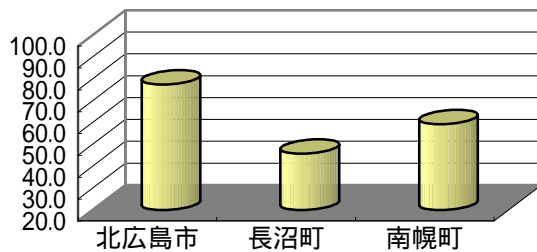
(注)平成13年度公共施設状況調査の基準日により記載。

算式	内 容	全道市平均	全道町村平均	全道平均
道路舗装率	舗装道延長 / 市町村道実延長 × 100	56.8	45.5	50.6
永久橋比率	永久橋数 / 全橋数 × 100	97.2	96.3	96.7
区画整理実施率	区画整理実施済面積 / 計画面積 × 100			
都市公園面積	都市公園面積 / 都市計画区域内人口 × 100			
市町村営住宅比率	市町村営住宅戸数 / 住民基本台帳世帯数 × 100			
入居競争率	応募件数 / 公募戸数			
ごみ処理実施率	処理人口 / 処理計画人口 × 100	99.9	96.5	99.1
ごみ収集率	年間総収集量 / 年間総排出量 × 100	99.9	94.9	98.9
上水道普及率	給水人口 / 給水区域内人口 × 100	97.1	89.8	96.3
下水道普及率	現在排水人口 / 行政区域内人口 × 100	88.5	40.7	80.8
小学校非木造校舎比率	非木造面積 / 校舎面積 × 100	98.5	93.3	96.8
中学校非木造校舎比率	非木造面積 / 校舎面積 × 100	98.7	96.4	98.0

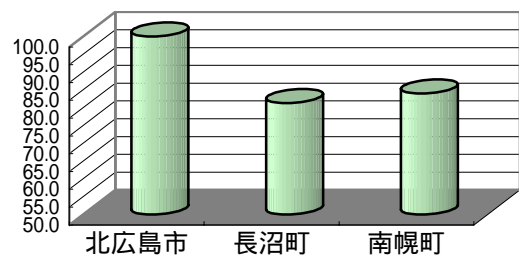
全道市平均は、札幌市を除く。

(注)全道平均等は平成11年度公共施設状況調査の基準日による。

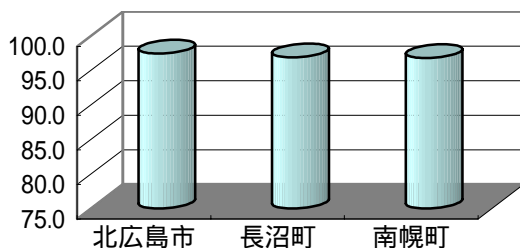
道路舗装率(%)



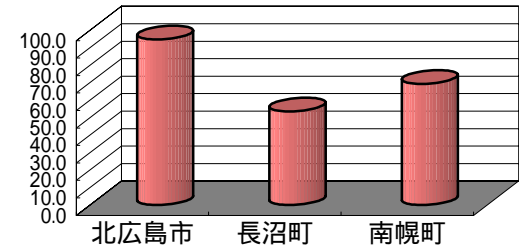
ごみ収集率(%)



上水道普及率(%)



下水道普及率(%)



市町村合併のメリット・デメリット

先の現状分析結果等に基づき、仮に北広島市と長沼町・南幌町が合併した場合、国などが示している一般的なメリット・デメリットの項目に当てはめて、研究会として検証しました。

市町村合併のメリット

…メリットである。

…メリットとは言えない

市民サービス

国などが示している一般的な内容	適否	研究会の意見
一般的に、合併すると住民サービスは合併した市町村のうち高い水準のところ、負担は低い水準のところに合わせて調整される。		サービス水準を高いところに合わせてするためには、新たな財政負担を必要とする場合もあり、住民の負担増となる可能性が高い。また、負担が低い水準のところに合わせて調整されるということも、厳しい財政状況の折り考えにくい。
高齢者などへの福祉サービスが安定的に提供でき、その充実も図ることができる。		ただし、市域が広大になることや施設配置、給付制度が異なる部分があり、単独時にしていたようなきめ細かなサービスが担保できるか心配される。
介護保険制度が安定的に運営できるようになる。		ただし、住民負担が増加する可能性もある。
文化施設、スポーツ施設など、これまで利用が制限されていた他の市町村の施設が利用できるようになる。		利用可能な施設の幅が広がる。ただし、施設への公共交通アクセスなどの検討事項が生じる可能性がある。
利用できる窓口の増加により、住民票の発行などのサービスが住居や勤務地の近くなど多くの場所で受けられるようになる。		住民票は、今後住民基本ネットワークの稼働により、どこでも取れるようになるため、それほどのメリットとは言えない。

まちづくり

国などが示している一般的な内容	適否	研究会の意見
広域的な調整や展開を必要とする課題に対し、迅速かつ総合的に対応できる。		行政区画の一体化により、広域的ゾーンの課題について、より迅速な対応が可能となる。
広域的な観点から計画を策定し、まちづくりをより効果的に展開できる。		さらに市街地の分散が拡大する可能性があり、各地域間の均衡が取れた計画を策定するのは難しい。また、周辺部(旧町だった地区)で実施していた施策などを継続できるか疑問。
広域的観点からスポーツ施設、文化施設などの公共施設を配置することで、狭い地域での類似施設の重複がなくなる。		既設の配置状況から、効果として期待しづらい。
観光資源等の素材の多様化により、大規模で広域的なイベントが実施可能になる。		地域の素材を活用したイベントの展開が可能になることが期待できる。
ごみ処理施設の建設等に係る調整がよりスムーズになる。また、処理トン数の拡大や統一的な分別ごみ収集により、有効なダイオキシン対策を実施できる。		左のとおり
より大きな市町村が誕生することで地域の存在感や「格」が向上するとともに、イメージアップにもつながることから、企業進出や新たな産業の展開、若者の定着、重要プロジェクトの誘致などが期待できる。		対外的なインパクトをアピールするまでの誘引材料は期待しづらい。

都市機能

国などが示している一般的な内容	適否	研究会の意見
幹線道路以外の道路の連結が旧市町村界を越えて良くなる。また、隣接する市町村で異なっていた道路の幅や整備状況が改善される。		千歳川を挟んで隣接する現在の状況からすると、効果として期待しづらい。
バス路線の広域的な展開や、独自の新たな交通政策の取り組みが可能となる。		新市独自の新たな交通政策の取り組みが必要となり、利用の需要や財源負担が容易でない問題点がある。
重点的な投資が可能となり、地域の中核となるニーズの高い施設の整備や大きな投資を必要とするプロジェクトの実施が可能になる。		合併後の新市で、グレードの高い施設や大規模な投資のプロジェクトが必要か、現時点では不明である。
高度情報化に対応した情報通信基盤や地域間を結ぶ道路網の整備など、地域全体の発展に資するような基盤整備が図られる。		地域間を結ぶ道路網の整備は済んでおり、効果は期待しづらい。
道路や下水道、集会施設等の整備が遅れた旧市町村においては、合併後急速な整備が可能になる。		合併特例債(合併する場合に国から有利な条件で借りられるお金)等の活用により整備は可能であるが、既に整備の進んでいる地域の住民も負担しなければならなくなる。
異なる地域資源を持つ市町村が合併することで、相互に機能を補完し、都市の魅力を高めることができる。		地域資源の価値により補完機能がどの程度担保されるかがあるが、可能性は見込める。

行財政

国などが示している一般的な内容	適否	研究会の意見
行政経費が節約され、少ない経費でより高い水準の行政サービスが可能となる。		職員の人件費等の行政経費は節減されるが、高い水準に合わせた行政サービスを行うには経費の増加も予想される。
財政基盤の強化による行政サービスの充実や安定が図られる。		可能だが、財政的な合併の特例措置が受けられる期間(10年間)が終わった後の財政状況も視野に入れて、サービスの水準を考えるべきである。時限的な効果にとどまる。
三役、議員、各市町村に置くこととされている委員会や審議会委員、事務局職員などの総数が減少することで、その分の経費も節減される。		ただし、人口の少ない地域からの議員数の減少など、民意の反映から見るとデメリットもあると思われるので、旧市町村の住民の意見をくみ取るシステムを構築すべき。

行政組織

国などが示している一般的な内容	適否	研究会の意見
総務、企画等の管理部門への効率化とともに、サービス提供や事業実施部門の重点化などにより、職員数を全体的に少なくすることができる。		ただし、人員を削減を図るには相応の期間が必要になることに留意する必要がある。
小規模市町村では設置困難な政策法務や男女共同参画、都市計画、国際化、情報化等について、専任の組織・職員を置くことができるようになり、より多様な個性ある行政施策の展開が可能になる。		ただし、自治体の規模によりメリットの効果に差が出る。(既にこれらの組織・職員を設置している市町においてはメリットはほとんどない。)

市町村合併のデメリット

市民サービス

…デメリットである。

…デメリットとは言えない

国などが示している一般的な内容	適否	研究会の意見
庁舎や重複した公共施設の統廃合により、役場等が遠くなる。		ただし、窓口サービスに限れば、支所などが残るのでそれほど影響はないと思われる。そもそも、市街地が分散している場合は公共施設等の統廃合自体が難しい。
行政と住民との関係が遠くなり、行政施策に住民の意向が十分反映されなくなる。また、地域ごとのきめ細かな施策が実施しにくくなる。		行政施策に住民の意向を反映させるために、合併前の市町の区域を単位とした地域審議会を設置するなど、住民参加の手法を考える必要がある。
旧市町村間の行政水準や住民負担、財政状況等の格差が大きい場合は、地域間の均衡を図るため格差の是正が必要となることから、行財政への負担が生じたり、サービス水準が低下する場合がある。		大きな負担増が伴う場合などは、地域間の格差を是正すること自体が難しい場合もあると考えられる。
地域によって税率、基本使用料等に格差があるため、一部の住民にとっては負担増も考えられる。		左のとおり。

まちづくり

国などが示している一般的な内容	適否	研究会の意見
行政の広域化により少数の意見が切り捨てられてしまう。		声が届きにくくなると想定されるので、旧市町単位での住民の意見の反映については、地域審議会の設置など十分な対策が必要である。
新市町村の中心部から遠く、過疎高齢化が進む周辺部への投資が行われにくくなる(さびれる)。		合併後のまちづくりについて、中心部だけでなく、周辺部にも配慮した市町村建設計画を立てる必要がある。
旧市街地の空洞化に対する新たな対応が必要となる。		空洞化対策は非常に難しい問題である。
地域の名称がなくなり、地域への愛着が薄れる。		地名等を変更するには抵抗感があるので、地域への愛着が薄れないよう十分に検討する必要がある。
長い歴史の中で培ってきた各市町村独自の風土、気質、郷土文化、郷土への愛着心が忘れ去られる。		愛着心の薄れない方策の検討が必要である。
地域のまとまりが失われ、旧市町村ごとに行われていた特徴ある施策等を続けることが難しくなり、地域の特性が希薄化する。		地域のまとまりが失われないようなまちづくり計画が必要である。

都市機能

国などが示している一般的な内容	適否	研究会の意見
役場本庁舎がある中心部に人口、事業所、企業、商店街などが集中し、周辺部との格差が生じる。		経済活動上の格差が現実として生じるので、中心部と周辺部のバランスを考えた施策展開が必要。

行財政

国などが示している一般的な内容	適否	研究会の意見
財政力が弱い旧市町村や起債制限比率(自治体の収入に対する借金返済の負担を示すもの)が高い旧市町村を含む合併の場合は、合併後の市町村の財政状況が不安定になる恐れがある。		合併する場合は、市町村建設計画の中で行財政改革を徹底的に行う必要がある。
財政力に格差のある市町村が合併した場合、豊かな財政力の市町村の住民負担が増える。		財政力が高い水準にある市町からすると、合併による財政力の低下は免れない問題であるし、住民の負担増も想定される。
合併後10年間は、合併する市町村それぞれに合併前と同じ方法で計算した地方交付税額が措置されるといわれており、その後5年間は段階的に減額され、15年目に本来の算定額となるため、新市町村の財政運営に支障をきたす恐れがある。		国から配分される地方交付税については、全体として総額が減少すること、毎年、再計算されるので合併前の合算額が保障されるわけではない。 また、合併しないで単独の場合も交付税は今後削減幅が大きくなることが推定される。 このままでは財政運営に支障を来すことが考えられるので、15年間の中で効率的な行財政改革を強力に進める必要がある。
事業費の95%までを合併特例債(合併する場合に国から良い条件で借りられるお金)として借り入れすることができ、この元金と利息の70%は普通交付税として国からもらうことができるが、長期的には後年次への公債費(借金)増となり、財政負担になる可能性がある。		長期的には将来への負担が増加することになるので、より効率的・安定的な行財政基盤の確立が必要。
新市町村の面積が広大になる場合、道路の維持管理、除雪作業等において効率的な管理運営ができない。		広域的な管理体制を構築することにより、効率化が課題となる。
合併に伴う事業の増加や役場の整理統合の費用が必要となることから、経費負担が増える。		事業の増加については市町村建設計画に位置付けて、合併関係の財政的特例措置を活用する。整理統合についての経費負担は当然増える。
電算システムの違いにより、システムの統一を図る手間や費用がかかる。		左のとおり。

行政組織

国などが示している一般的な内容	適否	研究会の意見
行政組織が拡大することで情報の共有化が難しくなるとともに、機動性が低下する。		ただし、情報についてはインフラ整備で解決できる。

「北広島市・長沼町・南幌町合併問題研究会」は、既に長沼町、南幌町が参画した合併問題研究会（長沼町は「千歳・恵庭近隣市町村合併研究会」及び「南空知近隣4町合併問題研究会」、南幌町は「南空知近隣4町合併問題研究会」及び「江別市・南幌町合併研究会」）での検討経過を踏まえながら、1市2町の日常生活圏や行財政等の現状比較に加え、合併した場合のメリット・デメリットなどについて調査研究を進めてきました。

1市2町は、ともに歴史的な経緯、文化・風土や自然的・地理的条件等が異なります。

市町村の合併とは、最も身近な行政機関であり、住民自治の区域である”市町村”が大きく変わる重要な問題です。全国画一的な考え方や国からの押し付けではなく、長い歴史の中で、住民と行政がともに進めてきたまちづくりを振り返り、行政サービスの維持・向上を図るための将来のまちづくりの一つの選択肢として、地域住民が自主的・主体的に判断するものでなければなりません。

この報告書は、今後、北広島市、長沼町、南幌町の住民の皆さんそれぞれが市町村合併について議論を深め、方向性を定める際の基礎資料として提供するものです。

北広島市・長沼町・南幌町 合併問題研究会

<事務局>

北広島市企画財政部企画調整課
〒061-1192 北広島市中央4丁目2-1
TEL:011-372-3311(741)
FAX:011-372-3850

m a i l : k i k a k u @ c i t y . k i t a h i r o s h i m a . h o k k a i d o . j p

<各町担当>

長沼町総務課

〒069-1392 夕張郡長沼町中央北1丁目1番1号
TEL:01238-8-2111(215)
FAX:01238-8-4836

m a i l : s o m u - i n f o @ a d . m a o i - n e t . j p

南幌町企画振興課

〒069-0292 空知郡南幌町栄町3丁目2番1号
TEL:011-378-2121(240)
FAX:011-378-2131

m a i l : k i k a k u s i n k o u k a @ t o w n . n a n p o r o . h o k k a i d o . j p